

第6回 日本獣医がん学会獣医腫瘍科認定医認定委員会 議事録

日時：2012年1月28日（土） 13時20分～14時00分

場所：大阪アカデミア 603講義室/6階

出席者（順不同、敬称略）

石田、信田、藤田、小林、川村、佐藤、生川、武田、堀、牛尾、児玉（和）、児玉（恵）、長田、林、遠藤、北澤、井上、成田、水上、高平、入江、圓尾、杉山、古川、今井、三宅、保坂、林宝、山本、小山田、伊藤、村上（合計32名）

委任者（敬称略）代田、中島（合計2名）

議長：石田卓夫（学会役職：副会長、獣医腫瘍科認定委員会委員長）

書記：林 光児（学会役職：評議員） 北澤由紀子（学会役職：評議員）

下記のとおりご報告申し上げます。

1. 報告事項

(1) 第2回2種認定医試験関連報告(長田)

合格者：11名、

日本の獣医師免許を所有しない韓国獣医師免許所有の先生を学会規定に則し合格とした

現在2種認定医総数：合格者230名中2名退会1名死去、実数227名

新認定医認定証授与式：1月29日、1種認定証授与式と合同で行う

試験結果報告：2011年7月10日実施、受験者数132名、11名合格

合格率8.3%は過去最低（原因；地雷問題で7名不合格）

試験問題自体の難度は下げ、しかし最低限必要な基本的知識の確認のため地雷問題を設定する

1種一次試験問題も同様（石田）

学会会員のレベル向上を目指した試験制度であることを認識した問題作成を行っていく

2種認定医試験（基礎知識）と1種一次試験（応用力）の目的を意識した問題作成を希望（信田）

合格基準の設定：現時点で問題レベルの統一は困難、合格ラインは明確には設けず

1種一次試験までは挑戦しやすい問題作成を心がける

(2) 1種一次試験実施報告(堀)

第2回1種一次試験実施日：2011年7月11日

出願者数：17名 受験者数：17名 合格者：3名

出願者数は例年30名程度

減少原因：ホームページからの申し込み方法が難儀である可能性あり、DMにて周知する予定

第3回1種一次試験：2012年7月学会2日目実施予定、受験資格者142名

(3) 1種二次試験報告(武田)

第3回1種二次試験実施日：2011年10月23日

試験会場：麻布大学附属動物病院

出願者数：9名 合格者数：1名 有受験資格者数：32名

最低の合格人数だが、レベルとして妥当

第4回1種二次試験：2012年10月予定

(4) その他

2種認定医腫瘍学テキスト（仮称）作成について

最終締切 2 月末

試験 2 ヶ月前には手元に届くよう作成中

2 . 審議事項

(1) 新認定委員の承認：村上昭弘先生を承認

(2) 2012 年度認定委員会組閣案（石田、武田）

新認定委員村上先生：2 種試験担当

佐藤副委員長および 2 種担当辞任希望：辞任を承認、後任に長田先生を推薦（佐藤）

後任副委員長の承認：長田先生が了承し、承認された

(3) 試験受験要綱（認定医 II 種）の中の受験資格変更について（石田）

有効期限について：受講済印は受験しようとする年から 8 年前の 1 月までを有効とする

細則の改定案：変更後案、認定医委員会承認

理事会、総会で承認を得る予定

(4) 1 種認定医更新条件の論文について：承認、規定の変更手続きを行う

第 1 著者であること

レフリーつき雑誌であること

審査、査読があるなら商業誌も可：例；獣医畜産新報、JONCOL

日本語可

J ステージへの投稿奨励（藤田）

最低 4 年に 1 回の論文作成が必要

(5) その他

認定医手帳：増刷必要、予算要検討（佐藤）